

C | O | N | T | E | N | T | S |

- 【1】 セミナーのご案内
- 【2】 職場を考える(45)
- 【3】 生き生き施設づくり(37)
- 【4】 信頼のある職場(45)
- 【5】 少年硬式野球チームのコーチと目標管理(55)
- 【6】 紫蘇ジュース

平素はお世話になりありがとうございます。
当センターで2カ月に1回のペースで発行するメールマガジンをお送りします。
すごいことが書いてあるわけでもなく、無事をお知らせする程度のメールマガジンです。
気楽にご笑覧いただき、今後ともご厚誼をいただければ幸いです。

中嶋哲夫

【1】 セミナーのご案内

目標管理推進者養成研修開催のお知らせ

第42回 目標管理推進者養成研修の開催が迫ってきました。良い職場づくりのために目標管理を活かす。その方法と考え方を学んでいただきます。

対象は管理者並びに人事担当者。

職場主義目標管理の基本的な考え方から、人事評価や人材育成への活かし方までを含む内容です。

開催日時：第1ステップ：2018年10月4日（木）11:00～5日（金）17:00まで
第2ステップ：2018年12月6日（木）13:00～8日（土）12:00まで

会場：第1ステップ：株式会社エム・シー・アンド・ピー
カンファレンスルーム（大阪中之島）
第2ステップ：関西セミナーハウス 修学院きらら山荘（京都修学院）
<http://www.mbo-mcp.com/seminar/details/pdf/180219.pdf>

【2】 職場を考える(45)

【 考える姿勢 】

先月に引き続き、無意識の思考習慣についての話です。今回は、問題を考える時の思考姿勢について考えます。

一般的に、私たちが物事を考える姿勢には4種のものがあります。
第一は、should主義。べき論を考えるという姿勢です。物事のあるべき姿を考え、理想を追求するという意味ではプラスの思考姿勢ですが、べき論を言うだけで満足してしまい、行動に繋がらない場合にはマイナスの思考姿勢と言わざるを得ません。教育者や宗教家という印象を受けるかもしれません。
第二は、about主義。「～～について〇〇だ」というような解説をする姿勢です。客観的に物事を観察するという点ではプラスですが、傍観的あるいは評論的であるというマイナス側面もあります。
第三はwill主義。「～～したい」と考える姿勢です。意思を含みこんだ考えなので、行動に繋がりがやすいというプラス側面がありますが、現実を見ないまま意思だけが先行すると、前のめりの思考姿勢となるマイナス側面が出てきます。最後にhopeさんという類型をあげます。「～～が〇〇になると良いのですが、、、」とabout主義のような言い方の後の語尾が曖昧になります。考えた人の希望は表現されていますが、意思は表現されていないので、行動には繋がりません。

このような思考姿勢も職場によって偏りが見られます。should主義が強い職場もあればwill主義が強い職場もあります。about主義とhopeさんが強い職場もあります。それらの思考姿勢も、職場の共有された資産の一つだと考えています。

中嶋

【3】生き生き施設づくり(37)

【 こども人出不足 】

介護スタッフの人手不足は慢性化して、状況改善の兆しが見えません。それに加えて、介護スタッフ以外の働き手にも人手不足が生じています。そのひとつが、施設に食事サービスを提供する外部の給食会社です。この施設では、給食会社に施設内の食事サービスを委託しています。365日三食の食事を滞りなく提供するために人手は欠かせませんが、その人手が足りないのです。これまでは通常だと、発注する側（この場合は介護施設）と受託する業者（給食会社）の力関係は、発注する側が顧客で強い立場にあったのですが、その関係が変わり始めています。給食会社の側でもお客さんを選ぶ状況が起こり始めています。

今年が給食会社の契約更新の年です。随意契約でなく複数から相見積もりを取って契約先を選定するようにと行政側から指導が入りました。しかし、人手不足に悩む給食会社が公募に応じてくれるとは限りません。これまで継続してくれていた給食会社はともかくとして、新しい会社が公募するには、新規参入の会社側に高いハードルがあります。それは厨房という「城」の明け渡しと受けとりを一夜にして行わなければならないからです。行政が現場の実態をどこまでわかっているのか、と現場は嘆いています。人手不足の時代には、顧客第一という金科玉条すらB to B、B to Cに限らず、揺らぎ始めているように感じます。

パートナー 三宅敬司

【4】信頼のある職場(45)

【 考えて自分の言葉で書く 】

近ごろよく聞く「体幹トレーニング」。
体幹は人のあらゆる動きを支える幹の部分で、体幹がしっかりすれば、手足の動きが安定し、姿勢もよくなるし、けがも少なくなるなど、スポーツをするにも健康で長持ちする体をつくるにもいいことばかりです。筆者も趣味のランニングの走力アップを期待して何度か試みているのですが、習慣にするまでいならずモノにできません。

そんな根気のない自分ですが、仕事の上では「体幹トレーニング」に相当する良い習慣を新入社員のときから職場で毎日つけてもらいました。それは“日報”的なものを直筆で書くことです。『わたしの記録』と呼ぶB5横罫の便箋で全部書けば400字ほどあったでしょう。2枚複写になっていて、1枚は社長あてに回付され、もう1枚は上司が目を通した後で職場内に回覧されます。ただ読まれるだけでなく、冴えたコメントや思わず笑うようなつつこみが上司や先輩同僚から朱筆で入り、ときどき社長からも入ってきます。

いわゆる“日報”と異なるのは、ハウレンソウの機能を求めているのではなく、仕事で感じたことや共有したい情報や提案などを自由に書き、それに対する多方面からの反応から、自分の書いたことの意味をあらためて深めて再考するツールだったと思います。

自由に書いていいというのは結構難しく、読み手を意識するわけですから、日記とも違うわけで、筆が進まない日もありますが、毎日提出が絶対的なルールでした。おかげで、一日を振り返ってあたまたに浮かんできた雑感を、考えて自分の言葉で書くことで、はかなく消える泡沫に終わらせずに、いつか役立つ栄養分としてたくわえていけたのではないかと思います。

パートナー・三宅敬司

【時代の流れには逆らえない？】

皆様、今まさに高校野球の頂点、甲子園大会の真っ只中、しかも今年は100回の記念大会ということで、星陵高校OBの松井秀喜元選手が始球式を行うなど話題も多く、例年以上に興味を持ちながらご覧になっている高校野球ファンも多いのではないのでしょうか？

私も教え子が出場するというところで、開会式から録画をしてシッカリと見逃さぬようにしておりました。選手達の晴れやかな姿や選手の前で各学校名の入ったプラカードを持つ西宮高校のプラカードガール、例年通りに始まりましたが、今年の開会式で“おやっ？”と思ったシーン……それは選手が全員ユニフォームの後ろのポケットに小さなペットボトルに入れた水を携帯し、それを給水時間を取り、全員で飲んでいました。

昨今の猛暑で熱中症になる人も多く、甲子園球児に対しても必要な対応と受け止めている方が大半ではあると思いますが、中には違和感を感じている方も少なからずいたのではないのでしょうか？

筆者である私も50歳を超える世代。昔は水を飲むとバテるとか、水を飲めるのは2年生以上とか、色々な理論！？やルール！？により、練習中にも試合中にも水を飲む行為そのものが御法度という世代。

我がチームのコーチ陣にも聴いてみました。私よりも10歳程度若い世代までは、やはり水を飲むことが悪いように言われていたようで、記憶にあるとの認識でした。しかしながら、それよりも若い世代では、“それって、殺人行為ですよね？”とあっさり。当然と言えば当然ですが、そんな時代があったなんて信じられないとのこと。逆に昭和世代のシニア層は、いかにズルして“水を飲む”のか？ 毎日の部活動で上達すること以上に先輩や顧問の先生に、いかに見つからずに“給水”を果たすのか？ そんなことを考えながら過ごしていた青春時代の記憶が蘇り、妙な懐かしさを感じて話題は盛り上がりました。

盛り上がるだけ盛り上がった挙句、コーチ陣との話の結論は“あの頃は水も飲めなかったんだぞ！”なんて言ったところで“それって殺人行為ですよね？”と返ってくるだけ……「時代の流れには逆らえない！」と。えっ？ なんだか時代のせいになっているじゃないですか……。

そこで私から『時代のせいではないです。科学的な根拠を示すことで、習慣や妙なルールを正しい結論へと導き出すことができるのではないのでしょうか？』甲子園の開会式での給水も以前から理学療法士による健康管理を試合前に行い、最近ではベンチ内での給水も含めて管理するなど給水の必要性を医学的にも理解させており、その延長線上で決まったものだと解説。一同納得。

伝統や習慣のすべてを科学的な根拠に基づいて、“変えるべき！”とは言いませんが、時代の流れを掴みつつ、諸先輩方にも気を遣い、科学的根拠をもとに議論をすれば“意味ある変化”につながるのではないのでしょうか？

「変化の激しい時代」、「近頃の若者」、「古き良き時代」、「時代の流れ」様々な観点で物事が語られます。諸先輩方の慣習や直観、それら全てを否定することはできませんが、老若男女が“意味ある変化”についてフラットに議論できる環境にするためにも、科学的な根拠をお互い示しながら結論を出そうとすること！

私も52歳、過去の経験、慣習や直観で……部下にゴリ押ししてるかも？（笑）

イケメンコーチ

【6】紫蘇ジュース

筆者の家庭菜園には、意図して作る作物と、勝手に成長する作物があります。イチゴなどは、意図して育てていますが、紫蘇は勝手に生えてきます。チリメン紫蘇、青紫蘇の2種と、もう1種類の赤紫蘇が、初夏になると雑草のように育ちます。

筆者は梅干しを作りませんから、紫蘇の使い道はありません。しかし、もったいないので赤紫蘇のジュースを作ります（青紫蘇は、蕎麦に切り込

んでもらいました)。赤紫蘇を煎じてエキスを抽出し、砂糖を加えて煮詰めたコンクジュース。レシピはなく、例によって目分量。美味しくできるときもあれば、いまいちのこともあります。

不思議なことに、気温が高くなると、紫蘇ジュースを美味しく感じます。一定の気温以下だと美味しくありません。汗が出るようになると、紫蘇ジュースを美味に感じます。紫蘇には身体を冷やす効果がある（陰陽でいえば、陰の食物）のかもしれないと思ったりします。自然に生まれた作物を口にする。「身土不二」という言葉を実感する時です。

中嶋

◆◇MBO(目標管理)実践支援センターの考え方

MBO(目標管理)実践支援センターはMBO(目標管理)を組織内で展開するためのノウハウを蓄積し、人事担当者に提供するためのセンターです。営利事業と非営利事業を組み合わせるこの機能をはたしていくつもりです。

<http://www.mbo-mcp.com/>

◆◇



編集・発行／MBO(目標管理)実践支援センター
代表／中嶋哲夫 <http://www.mbo-mcp.com/>
事務局／(株)MC&P TEL:06-4706-3311

- 最後までお読みいただきましてありがとうございます。
このメールマガジンは、センターの講師陣が出会った方々に感謝の気持ちを含めて送らせていただいています。
もし、ご関心のない場合には、ご面倒ですが解除の手続きをお願い申し上げます。
- このメルマガを読んでもらいたいお知り合いを是非ご紹介ください。
- 投稿または配信停止を希望される場合は、
下記「お問い合わせフォーム」にて、
「MBO投稿」または「MBOメルマガ配信停止希望」とご記入の上、送信願います。
<https://secure.mcp.co.jp/contact.html>
- このメールアドレスは配信専用となっております。
返信いただいても対応はいたしかねますのでご了承ください。
ご連絡は下記のアドレスまでお願いいたします。
mbodoor@mbo.mcp.co.jp

※本メールの無断転載・複製を禁じます。